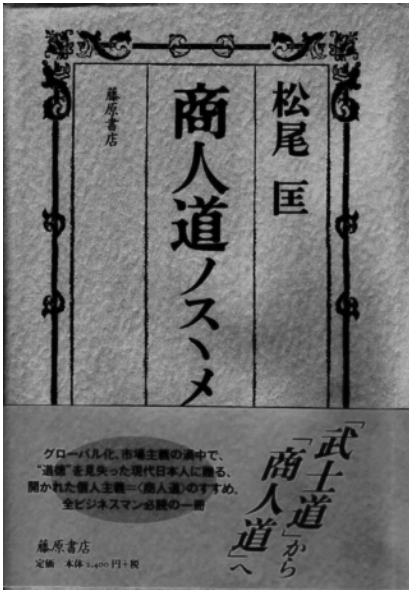


講師プロフィール： 松尾 匡（まつお ただす）  
 福岡県久留米市在住。立命館大学経済学部教授。  
<http://matsuo-tadasu.ptu.jp/>



本日のお話の詳しいことは、著書、  
 『商人道のスゝメ』（藤原書店, 2009年6月）  
 をご覧下さい。

## はじめに——「世の乱れ」は戦後のせいか

### 戦前昭和初期の異常事件

昭和5年：「板橋もらい子殺し事件」発覚。東京郊外で村ぐるみで、  
 養育費目当てにもらい子を次々受け入れては、嬰兒はみな殺し、少  
 年は乞食に使役していた。

昭和7年：「首なし娘事件」、殺した情婦の  
 頭皮を被り、眼球や乳房を身に付けて首吊  
 り自殺。局部は食したと言われる。「天国  
 に結ぶ愛事件」、若い心中カップルの女性  
 の死体を深夜掘り出して運びイタズラす  
 る。「玉の井バラバラ事件」、一家ぐるみ  
 の犯行による、「バラバラ殺人」と名付け  
 られた最初の事件。

昭和8年：「神戸ミイラ首事件」、男色のも  
 つれで殺した相手の首を、持ち歩いていた  
 ことが発覚。複雑に絡み合った広範な同性  
 愛関係のネットワークの存在が明らかにな  
 った。

昭和11年：「阿部定事件」、絞殺した情夫の  
 局部を切り取って逃走。

昭和12年：「死のう団事件」、集団で「死の  
 う、死のう」と叫んで練り歩く新興宗教団  
 体のメンバーが、宮城前や内務省などで集  
 団で割腹自殺。

昭和13年：「津山30人殺し事件」、病弱な  
 青年がわずかに二時間のうちに村びと30人  
 を殺害して自殺。小説「八つ墓村」に出てくる  
 事件のモデルになった。

日本社会はこれまで、身内集団倫理  
 が中心  
 ex) ダグラス・グラマン事件のとき  
 に会社をかばって自殺した社員の遺  
 書

日商岩井の皆さん 男は堂々とあるべき。  
 会社の生命は永遠です。その永遠のために私  
 達は奉仕すべきです。私達の勤務は20年か  
 30年でも会社の生命は永遠です。それを守る  
 ために男として堂々とあるべきです。今日の  
 疑惑、会社のイメージダウン、本当に申し訳  
 なく思います。責任取ります。

## 第一部 社会関係の二大原理と それぞれの倫理

### ジェイコブズの「二つの倫理」

#### 市場の倫理

中心価値：他人に対する「誠実」

- 暴力を締め出せ
- 自発的に合意せよ
- 正直たれ
- 他人や外国人とも気安く協力せよ
- 競争せよ
- 契約尊重
- 創意工夫の發揮
- 新奇・発明を取り入れよ
- 効率を高めよ
- 快適と便利さの向上
- 目的のために異説を唱えよ
- 勤勉なれ
- 節儉なれ
- 樂觀せよ



開放個人主義倫理  
 (商人道)

#### 統治の倫理

中心価値：身内に対する「忠実」

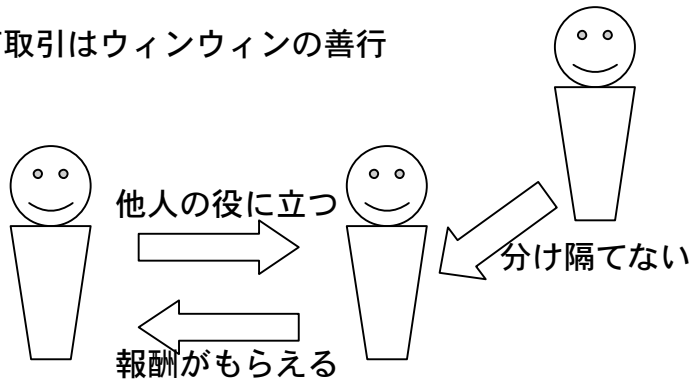
- 取引を避けよ
- 勇敢であれ
- 規律遵守
- 伝統堅持
- 位階尊重
- 忠実たれ
- 復讐せよ
- 目的のためには欺け
- 余暇を豊かに使え
- 見栄を張れ
- 気前よく施せ
- 排他的であれ
- 剛毅たれ
- 運命甘受
- 名誉を尊べ



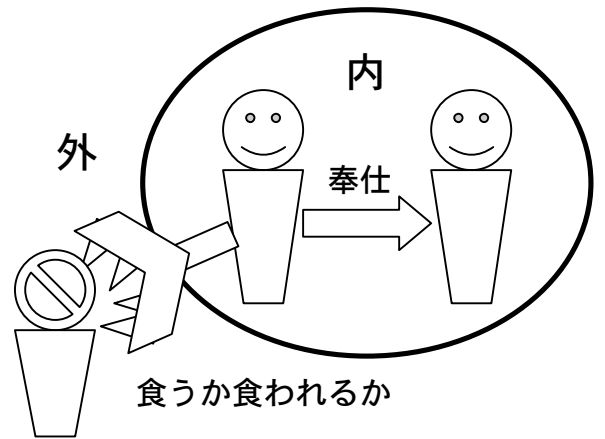
身内集団倫理  
 (武士道)

身内集団倫理と開放個人主義倫理の違いをもたらす社会像

商取引はウィンウィンの善行



身内集団倫理は内外で利他と利己を分ける



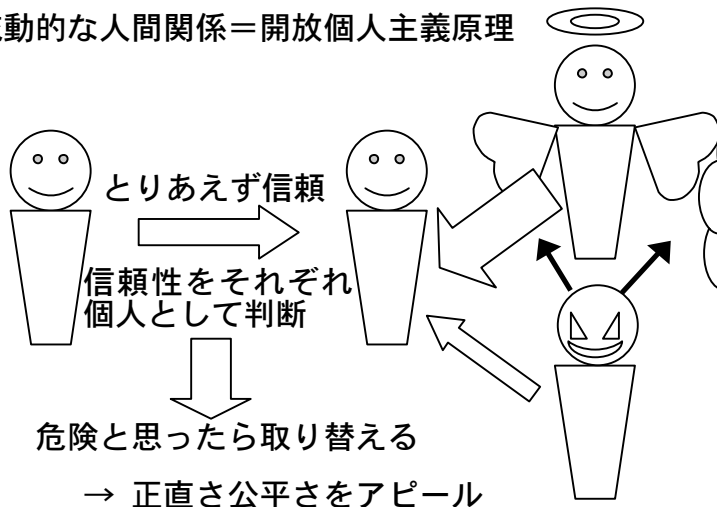
ボランティアはこの延長

ボランティアのイメージについての国際比較調査

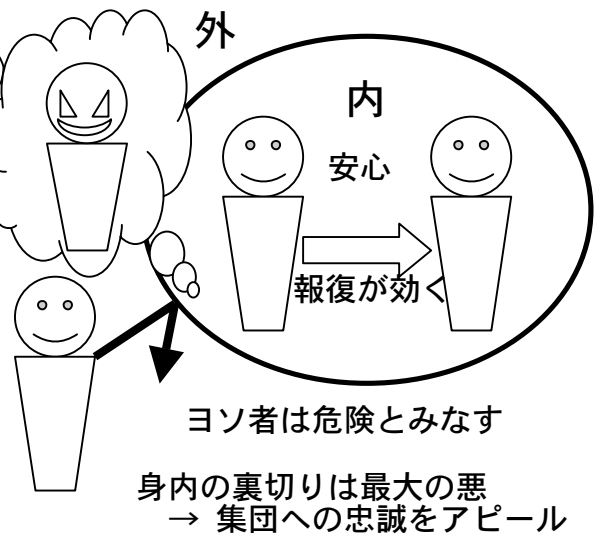
- ・ 「自己犠牲」「強制的な」「おせっかいな」等といったイメージには日本とカナダであまり違いがない。
- ・ 「偽善的」日本 38.5%、カナダ 4.9%

両タイプの倫理はそれぞれ異なる社会システムに対応している

流動的な人間関係＝開放個人主義原理



固定的な人間関係＝身内集団原理



アメリカ人は日本人よりも正直さ公正さを重視する。

- ・ 「ほとんどの人は基本的に正直である」「ほとんどの人は信頼できる」「ほとんどの人は基本的に善良で親切である」「ほとんどの人は他人を信頼している」「私は、人を信頼するほうである」「たいていの人は、人から信頼された場合、同じようにその相手を信頼する」多くの項目で(男性一般ではいずれの項目も)アメリカの方が yes と答えた割合が有意に高い。
- ・ 「たいていの人は信頼できると思いますか、それとも用心することにこしたことはないと思いますか? → 信頼できる」アメリカ人 47%、日本人 26%。「他人は、スキがあればあなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか? → そんなことはない」アメリカ人 62%、日本人 53%。「たいていの人は、他人の役に立とうとしていると思いますか、それとも、自分のことだけに気をくばっていると思いますか? → 他人の役に立とうとしている」アメリカ人 47%、日本人 19%

← 何度も同じ調査結果。(70年代以来。ただし、2000年代に入るまでは、日本人の他者信頼は増加し続けていた。)

同じことは実験でも確かめられる。

ランダムペア A, B. 実験参加報酬の受け取り方の A の選択: (1) 確実な少額 or (2) B に委任。B の決定: 比較的高額を A と B に分配 (A が (1) を選んだら無効)。「A の決定 → B の決定」の順の場合、A が (2) を選ぶ率: 米 73%、日 59% で有意な差。両者独立の決定の場合、A が (2) を選ぶ率: 米 64%、日 61% で差がない。赤の他人への信頼が相手に伝わること → 米: 相手も信頼し返す、日: 相手につけこまれる、と予想。

## 日米の比較実験の結果

### ◆ アメリカ人は相手のトクに構わず自己利益最大化

#### 日本人は自分が少々損しても他人の足をひっぱる

- ・ 固定的関係の中で、抜け駆けしてもうける者への制裁として働き、協力関係を引き出す機能を持つ。
- 匿名の流動的關係の中では足を引っ張り合って最悪の結果をもたらす。

### ◆ 日本人はヒト目がなければ、アメリカ人ほど協力的ではない

- ・ 相手不明の四人一組のグループ。全員に定額の元手が渡され、各自元手から自分の望む額を提供。それが実験主催者によって二倍にされて他のメンバーに渡される。(他人に提供させて自分が出さなければ丸もうけ。誰も出さなければもうからない。みんなが提供すればするほどもうかる。)
- 米平均：元手の56%を提供。日平均：元手の44%を提供。有意な差。

## 日本人は「仲間の目」が神

- ・ 旧軍兵士の中国での強姦：兵士仲間「女も犯せないのは腰抜けだ」という観念。
- ・ 死に急ぐ特攻隊員、玉砕・自決、サイパンの集団身投げ。
- ・ シベリア抑留下の洗脳でスターリン礼賛。  
←ドイツ・イタリア兵捕虜では失敗。
- ・ 捕虜になった日本兵の積極的な対米軍協力。  
←西欧の捕虜には見られない特徴。
- ・ 占領下日本人のマッカーサー礼賛(山をなす贈り物と50万通の手紙)。  
←ドイツにはない現象。
- ・ 「内ゲバ」、連合赤軍事件。
- ・ オウム真理教事件。
- ・ 「ネット心中」、戦前の三原山火口投身ブーム。  
←自殺仲間の目で縛り合う。
- ・ 現代の学生：四六時中同じ数人のグループで行動。
- ・ 仲間の承認を得るための自殺。
- ・ 三菱重工爆破事件のときの外国特派員報道：人々は負傷者を傍観。介抱しているのは会社の同僚。

## 近年(拙著執筆時)の企業不祥事

- ・ 雪印乳業事件(00年6月発覚)
- ・ 三菱自工事件(00年7月発覚)
- ・ 雪印食品牛肉偽装事件(02年2月発覚)
- ・ 日本ハム牛肉偽装事件(02年8月発覚)
- ・ 三菱自動車欠陥車事故(04年6月元役員逮捕)
- ・ ニセ温泉事件(04年7月から相次ぎ発覚)
- ・ コクド事件(04年10月)
- ・ 松下ファンヒーター欠陥事件(05年1月発覚)
- ・ 保険金不払い事件(05年1月から相次ぎ発覚)
- ・ カネボウ粉飾決算事件(05年4月発覚)
- ・ JR西日本尼崎列車事故(05年4月)
- ・ マンション耐震強度偽造事件(05年11月発覚)
- ・ ライブドア事件(06年1月役員逮捕)
- ・ 東横イン偽造工事(06年1月から相次ぎ発覚)
- ・ 村上ファンド事件(06年6月役員逮捕)
- ・ 不二家期限切れ原材料使用事件(07年1月発覚)
- ・ 関西テレビ「あるある」ねつ造事件(07年1月発覚)
- ・ ミートホープ食肉偽装事件(07年6月発覚)
- ・ 白い恋人期限改ざん事件(07年8月発覚)
- ・ 赤福期限改ざん事件(07年10月発覚)
- ・ 比内地鶏偽装事件(07年10月発覚)
- ・ 船場吉兆期限改ざん事件(07年10月発覚)
- ・ 再生紙偽装事件(08年1月発覚)

## 身内集団原理の社会システムの崩壊



## 身内集団倫理の残存

### ギャップ

奉仕すべき身内集団がなくなり、周囲は食い物にしていいヨソ者だらけ

∴ 開放個人主義倫理への転換が必要。But 身内集団倫理は日本人の文化的宿命？

日本にも開放個人主義倫理はあった。典型：江戸時代の「商人道」

## 第二部

### 江戸時代の商人道

「武士道」の儒教倫理から見た商取引

「トクの裏にはソンがある」→買い手を食い物にする行為

∴ 商人は身内への不義をなりわいにする卑しい輩。

## 石田梅岩の商人道

1685-1744。京都の商家で奉公の後、私塾を開く。関西一円に影響。

- ・商取引と利潤の肯定：商売は天下の人々につくす善行。相場は「天ノナストコロ」。
- ・正直と公正の強調：「商人は正直に思われ、警戒心をもたれないときに成功する。」  
正直が行われれば世間が一同に和合し、「四海のうちみな兄弟のごとし」  
神に願掛けをすることを批判。神はえこひいきをしないから。  
重要事は従業員の総会で自由に議論して投票せよ。非理の主人は解任せよ。
- ・身内びいきの否定。すべての個人の尊厳と博愛。  
身内に貸した金でもきっちり取り返せ。親しくない他人にも返礼を期待せずに施せ。  
「人は貴賤に限らずことごとく天の霊なり。」「万民はことごとく天の子なり。」  
積極的なボランティア活動。  
不作で京都市中の米価が高騰した時、梅岩は門人達に困窮者の調査をさせ、悲惨な状態にあることをつかむと、門人達と三、四人ずつにわかれて貧困者達にお金を施与して歩いた。これが町で反響を呼び、これを見習って市中のあちこちに施行の姿がみられるようになった。また、京都の下岡崎村で大火事があったときには、梅岩は冬の寒い夜中、すぐに門人達を呼び集めて飯を炊いて握り飯を作り、現地に行って被災者に分かち与えた。梅岩死後の 1850 年に中国筋一帯が風水害に見回れて大量の難民が大坂、京都に流れ込んだ時、梅岩門下の人々が組織的に救済計画を作り、地区分担を決め、人員と米高を割り当てて、奉行所や豪商にも働きかけ、京都の一万六千人の被災民を 350 日にわたって救済するという大事業を成し遂げた。このかん、京都の豪商達は金高一万両を超える拠出を続々と行い、門下生達の活躍に応えた
- ・日々の儉約と勤労それ自体を善の道として自己目的化。

## 近江商人の商人道

- ・浄土真宗の影響：祈祷・修行・善行で左右できない「絶対他力」→仏は普遍。  
信仰上の個人主義「子ども家来でも、…頼みになるもの一人もなし。一人ころび、一人起きと知るべし」  
→独立不羈の精神。身内集団原理からの脱却。  
報恩思想：日常のなりわいすべてが弥陀の恩への感謝の行となる。「自利利他円満」
- ・「三方よし」：「売り手よし、買い手よし、世間よし」  
「自利利他は古来の家風」(高島屋 飯田新七)、「利真於勤」(伊藤忠兵衛)。
- ・強烈な他国者意識：進出先で甘えず、身持ちを正しくして周囲に気を遣い続けること。
- ・正直さ公正さの強調：「売先・買先は父母のごとく」  
「主人のためにとて他人へ非道をする人は、また吾身の為にとて主人に非道をすべし」
- ・自己目的化した勤勉と儉約、忍耐。
- ・社会貢献：「好富施其徳」(とみをよしとしそのとくをほどこせ、西川家家訓)。  
中井家：逢坂山の道路改修事業、瀬田の唐橋の架け替え、草津宿の常夜灯の建設工事費と永代灯油料  
藤野四郎兵衛：「藤野の飢饉普請」
- ・血縁びいきからの脱却：当主に養子が多い(娘の誕生が喜ばれる)。主家の子弟も丁稚から。  
商家が血縁集団の私物でないとする観念：「あてがい入用金」。合議の重視。
- ・才覚と創意工夫尊重の風土。無資本の起業家を支援するベンチャー投資。
- ・政治権力との結びつきの敬遠。

## その他の商家の家訓の商人道

- ・正直：「律儀なるほどよき人はなし」(大丸 下村正啓)、「正直は一旦の依怙に非ずといえども終には日月の隣を蒙る。」(住友政友)、「虚言をいはぬ事」(安田家)
- ・分け隔てない公正：下村正啓、三井・殊法、山中屋、白木屋、松坂屋・伊藤次郎左衛門(「御大身御小身に  
限らず、御大切に御挨拶申し上ぐべく候はもちろん、御買物多少之隔てなく粗末につかまつりまじく候」)
- ・商売はウィンウィンの善行：「売りにて悦び、買って悦ぶ」(殊法)、「先義而後利者栄」(下村正啓)、「人の利するところにおいて我も利する」(伊藤次郎左衛門)、「徳義は本なり、財は末なり、本末を忘るるなかれ」(キッコーマンにつながる茂木家)

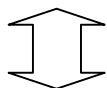
## その他の商家の社会貢献

- ・幕末期に西陣大不況の大量失業→三井越後屋と大丸など、共同で大規模な粥の炊き出し。
- ・1866年 貧民救済のため、三井が百貫、大丸は三十貫の銀を提供。
- ・大丸：業祖以来毎年貧民救済の施行→大塩平八郎「大丸は義商なり、犯すなかれ」(噂)
- ・キッコーマンにつながる高梨家：天明の大飢饉→千人以上を救済。天保4年と7年の大飢饉→8000人以上を救済。
- ・キッコーマンにつながる茂木家初代当主木白房五郎：寺子屋を視察して奨励品提供、夜陰に紛れて貧家に金品を配る。天保の大飢饉→夫人の生母の形見の珊瑚のかんざしまで手放して、家財を投げ打って救民

## 幕末の武士道と庶民道徳

### 攘夷思想の志士

- ・貿易商人に対して「天誅」と称したテロ
- ・外国人への無差別殺傷



### 戊辰戦争での会津武士

- ・玉砕戦の選択
- ・戦闘効果無視の少年兵投入
- ・女子供の集団自決

### 戊辰戦争での瓜生岩子

- ・商人の町喜多方の商家出身
- ・戦闘下会津若松で、敵味方なく負傷者を手当て。

## ディアナ号事件

- ・1854年11月、開国交渉をしていたロシアのディアナ号は、下田港に停泊中の所、安政大地震と大津波で大破。伊豆の戸田湊の修理地を目指して航行中大しけにあい難破。このとき、事件に気づいた付近の宮島村の村民千人がやってきて、脱出した500人の乗組員を冬の早朝に救助し、納屋を作り、毛布や綿入れ、履物、酒、食料を差し入れた。

下関戦争でも付近の住民は負傷した長州兵と四カ国連合軍兵を敵味方なく手当てしている。

## 難破した外国人への日本の庶民の対応

1609年：台風で漂流していたスペイン船、サンフランシスコ号が、田尻海岸に座礁して大破。岩和田の村人が総出で救助活動を行い、乗組員373人のうち317人の命を助け、手厚くもてなす。

1780年：漂流する清国船の乗組員78人を、安房国朝夷村の村民が、激しい波風の中、小舟で救出。

1840年：沖縄の北谷村で、難破したイギリス船、インディアンオーク号の乗組員67人を村人が救助し、小屋を建てて、食料や衣服を提供。

1864年：破船したイギリス船アスモール号の乗組員を下北の大間村の村民が嵐の中救助し、日本では食用でなかった牛を殺しまでして看護した。

1871年：難破したドイツ船ロベルトソン号の乗組員を宮古島の村民が救助、保護。

1885年：アメリカ船カンシヤ号が難破、乗組員が種子島に漂着。村民の手厚い救助活動を受ける。

1889年：座礁したアメリカ船チェスボロー号の乗組員を、青森県車力村の村民が荒海に磯舟を出して救助、手厚い看護を行う。

1890年：トルコ船エルトゥールル号が紀伊半島南端大島付近で台風巻き込まれて沈没。大島の村人が捜索、救助した69名を交代で人肌で暖めて救命し、衣類や食料を持ち寄って看護。

同年：台風で難破したカナダ船トゥループ号の乗組員のうち12名を、鹿児島県沖永良部島知名の村民が必死の救助活動で救出、生存した10名を17日間にわたって献身的に看護。

1892年：嵐で難破したイギリス船ノースアメリカン号の乗組員を、徳島県志和の村人が総出で荒海に小舟を漕いで救助。

1900年：難破して長く漂流していた韓国船の乗組員93名を、福井県泊村の村民が救助し、分宿して一週間手厚く保護。

1904年：難破したイギリス船ドラム・エルタン号を種子島の村民が救助し、船の修理を助け、2ヶ月にわたって生活のめんどうをみている。

同年：日本海海戦で破損したロシア艦イルティッシュ号が島根県沖で沈没。付近の和木の村民が交戦中の敵国であるはずの乗組員235名を救助して保護した。

## 鎖国前の南蛮貿易商、角倉素庵の「舟中規約」

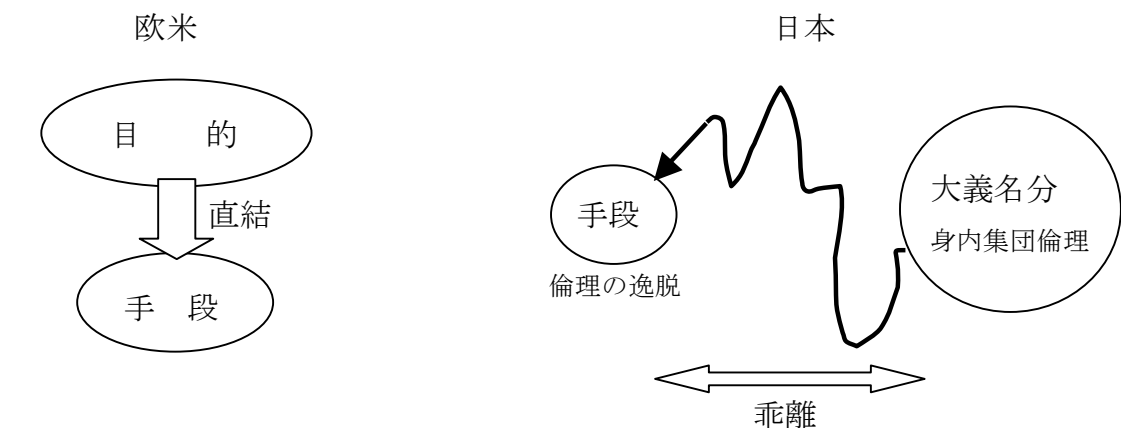
一、そもそも貿易の事業は、有無相通じることによって、他にも己にも利益をもたらすためのものである。他に損失を与えることによって、己の利益を図るためのものではない。ともに利益を受けるならば、その利は僅かであっても、得るところは大きい。利益をともにすることがなければ、利は大きいようであっても、得るところは小さいのだ。ここにいう利とは、道義と一体のものである。だからいうのではないか。貪欲な商人が五のものを求めるとき、清廉な商人は三のもので満足すると。よくよく考えよ。

一、異国とわが国とを比べれば、その風俗や言語は異なっているが、天より授かった人間の本性においては、なんの相違もないのである。おたがいの共通するところを忘れて、相違したところをふしぎがり、あざむいたり、あざけったりすることは、いささかもしてはならない。たとえ先方がその道理を知らずにいようとも、こちらはそれを知らずにいてよいものであろうか。人のまごころはイロカにも通じ、心ないカモメさえも人のたくらみを察する。天は人のいつわりを許したまわぬであろう。心ないふるまいによって、わが国の恥辱をさらしてはならない。

もし、他国において、仁徳にすぐれた人と出会ったならば、これを父か師のように敬って、その国のしきたりを学び、その地の習慣に従うようにせよ。

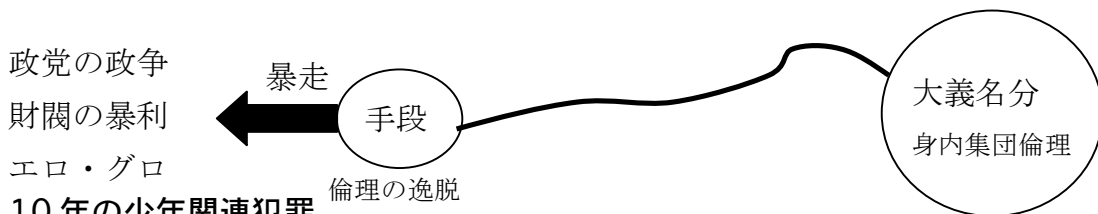
### 第三部 「大義名分－逸脱手段」のシステムの落とし穴

武士道維新政府が選んだ近代化方法＝「大義名分－逸脱手段」



近代化達成後

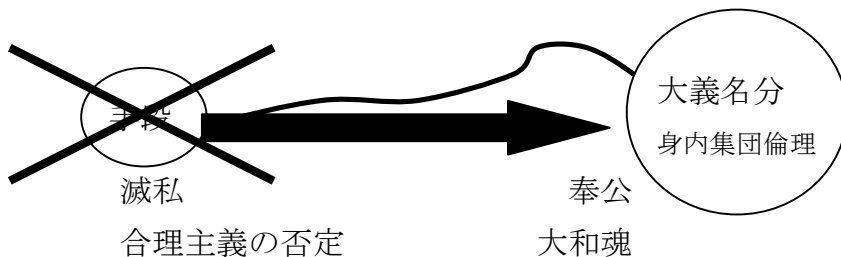
「逸脱」の暴走



#### 昭和10年の少年関連犯罪

〔高等小学校校長が女生徒(満14～15歳)と関係し袋叩き〕〔20歳(満18～19歳)ら6人組不良グループ「猫団」〕〔19歳(満17～18歳)が風俗店代のために放火〕〔16歳女子(満14～15歳)が恋する警官に逢いたくて放火〕〔20歳(満18～19歳)ら2人が日大相撲部員を日本刀で斬り殺す〕〔20歳(満18～19歳)ら2人が銭湯で日本刀で斬り殺す〕〔17歳(満15～16歳)少女が三原山の火口で心中未遂〕〔小学校教師が女生徒数十人をレイプ〕〔18歳(満16～17歳)が同級生宅に脅迫状〕〔17歳(満15～16歳)通り魔が女性10人以上を襲う〕〔18歳(満16～17歳)が主人一家3人惨殺〕〔19歳(満17～18歳)大学生が12歳年上の人妻と心中〕〔18歳(満16～17歳)女中がなつかない幼児殺害〕〔19歳(満17～18歳)が西園寺公望宅襲撃〕〔16歳(満14～15歳)がヨットを盗んでシンガポール目指す〕〔19歳(満17～18歳)が叱られ叔父を刺す〕〔16歳(満14～15歳)が通行人とケンカしてめった切り〕〔19歳(満17～18歳)女ら兄妹が従兄弟の赤ちゃんを営利誘拐〕〔19歳(満17～18歳)4人組が水着の女性を襲う〕〔学生が女性3人と心中〕〔16歳(満14～15歳)が11人の少女レイプ〕〔15歳女子(満13～14歳)が幼女を誘拐殺人〕〔17歳(満15～16歳)がクビの恨みで主人夫婦を切る〕〔17歳(満15～16歳)が中学校で同級生ナイフで刺す〕〔小学生2人が万引きして店員をナイフで刺す〕〔17歳(満15～16歳)武器マニアが大量の銃窃盗〕〔19歳(満17～18歳)がサイパン島で主人殺害〕〔17歳(満15～16歳)の名古屋連続通り魔、女性80人襲い1人刺殺〕〔中1(満15歳～16歳)がケンカで刺殺(その他ケンカで刺殺数件)〕

「大義名分」による引っ張り返し



### 第四部 生きている商人道 of 精神

戦後の日本人は、一人も殺さず、一片の領土も奪わず、ただ世界中で頭を下げて、世界のお役に立つことで、焼け野原から今日の豊かさを築いた。